

【プログラム】

(受付開始12:30～)

≪10月27日(木)≫

13:15～13:20 【開会挨拶】

五十嵐靖之 (北海道大学大学院先端生命科学研究院)

13:20～13:35 【一般講演 O-1】

スフィンゴ糖脂質とスフィンゴミエリンとの間で異なるセラミド分子種嗜好性には
セラミドの細胞内ロジスティックスが関与している

山地俊之・○花田賢太郎 (国立感染症研究所細胞化学部)

13:35～13:50 【一般講演 O-2】

結核菌による LacCer を介した食胞成熟回避機構について

○中山仁志^{1,2}・横山紀子²・岩渕和久^{1,2}

(¹順天堂大学医療看護学部・²順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所)

13:50～14:05 【一般講演 O-3】

SMS2 ノックアウトマウスにおける急性大腸炎症、及び、炎症性大腸発癌の抑制

○橋爪智恵子¹・大西敏雄²・谷口真³・小木曾英夫¹・古元秀洋¹・小坂健夫²・

岡崎俊朗¹ (¹金沢医科大学血液免疫内科学、²金沢医科大学一般消化器外科学・

³金沢医科大学総合医学研究所)

14:05～14:20 【一般講演 O-4】

敗血症性腹膜炎におけるセラミド-CD300f シグナルの役割

○伊沢久未・奥村康・北浦次郎 (順天堂大学アトピー疾患研究センター)

14:20～14:35 【一般講演 O-5】

ガングリオシド GM3 のアシル鎖長が制御する自然免疫応答の解析

○狩野裕考・郷慎司・新田 昂大・Lucas Veillon・井ノ口 仁一

(東北医科薬科大学分子生体膜研究所機能病態分子学)

14:35～14:50 【一般講演 O-6】

スフィンゴイド塩基の PPAR 活性化能と培養ケラチノサイトのスフィンゴ脂質合成促進作用の
比較

○三上大輔・酒井祥太・五十嵐靖之 (北海道大学大学院先端生命科学研究院)

14:50～15:05 【一般講演 O-7】

フィトスフィンゴシン分解に関わる新規哺乳類 α 酸化経路

○北村拓也・関直哉・木原章雄 (北海道大学薬学研究院)

15:05～15:20 【一般講演 O-8】

米由来グルコシルセラミド分画に共存する β -シトステロール-3-O-グルコシドの表皮セラミド合成関連酵素発現に及ぼす影響

○竹田翔伍¹・寺澤周子²・下田博司¹・芋川玄爾²

(¹オリザ油化株式会社・²中部大学生物機能開発研究所)

15:20～15:35 【一般講演 O-9】

セラミドナノリポソーム製剤によるネクロプトーシスの誘導

○張雪薇¹・北谷和之^{1,2}・豊島将文¹・石橋ますみ¹・臼井利典²・湊純子¹・重田昌吾¹・

Mark Kester³・八重樫伸生^{1,2}

(¹東北大学大学院医学系研究科産科婦人科・²東北大学東北メディカル

メガバンク機構・³Department of Pharmacology, University of Virginia)

15:35～15:50 【一般講演 O-10】

スフィンゴミエリン恒常性におけるチロシンリン酸化シグナルの役割

○金然正・平林義雄 (理化学研究所脳科学総合研究センター)

16:00～17:00 【海外招待講演 S-1】

A synthetic C16 omega-hydroxyphytoceramide improves skin barrier functions from diversely perturbed epidermal conditions

Oh MJ¹, Nam JJ¹, Lee EO², Kim JW², Park CS¹

(¹Department of Chemical and Biochemical Engineering, Dongguk University,

²LCS Biotech, Korea)

17:00～18:00 【海外招待講演 S-2】

Taste of fat : A sixth taste modality ?

Philippe Besnard

(Physiologie de la Nutrition et Toxicologie (NUTox), UMR Lipides, Nutrition, Cancer,

U866 INSERM/ Univ Bourgogne-Franche Comté/ AgroSup Dijon, France)

18:10～18:40 【施設見学会】

18:40～20:40 【情報交換会】

≪10月28日(金)≫

9:00~9:40 【国内招待講演 L-1】

植物スフィンゴ脂質の構造・組成・代謝経路について

今井博之^{1,2}(¹甲南大学工学部生物学科・²同統合ニューロバイオロジー研究所)

9:40~10:20 【国内招待講演 L-2】

皮膚バリア機能を維持する生理活性脂質 12-HHT

横溝岳彦 (順天堂大学大学院医学研究科生化学第一講座)

10:25~10:40 【一般講演 O-11】

抗体や毒素を用いたスフィンゴ糖脂質の脂質マイクロドメインの構造と機能解析について

○横山紀子¹・石井久美子¹・小林俊秀³・加藤幸成⁴・井ノ口仁一⁵・

岩渕和久^{1,2} (¹順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所・²順天堂大学医療看護研究科感染制御看護学分野・³理研脂質生物学・⁴東北大学大学院医学研究科地域イノベーション分野・⁵東北医科薬科大学分子生体膜研究所糖鎖機能病態分子学)

10:40~10:55 【一般講演 O-12】

長鎖 ω -ヒドロキシ脂肪酸の効率的合成及び試薬の開発

○中塚宏志・宮田健吾・松本恵実・中塚進一 (長良サイエンス株式会社)

10:55~11:10 【一般講演 O-13】

アンメットメディカルニーズを指向したセラミド類の創生

○村井勇太¹・Gowda S. B.¹・Koolath Sajeer²・端野翔太²・小林悠真²・小川連²・

藤田将平³・門出健次¹ (¹北大先端生命科学研究院・²北大生命科学院・³北大理学部)

11:10~11:25 【一般講演 O-14】

緑膿菌中性セラミダーゼの発現調節機構とその生理学的意義

○沖野望・伊東信 (九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門)

11:25~11:40 【一般講演 O-15】

こんにゃく芋遊離セラミドの作用メカニズム

○臼杵靖剛¹・田村範子²・田村具博²・齊藤貴士³・向井克之⁴・五十嵐靖之¹

(¹北海道大学先端生命科学研究院・²産業技術総合研究所・³北海道薬科大学・⁴ダイセル)

11:40~11:55 【一般講演 O-16】

遺伝子欠損マウスを用いた魚鱗癬原因遺伝子 NIPAL4/ICHTHYIN の皮膚バリア形成における機能解析

○本多湧一¹・北村拓也¹・永沼達郎¹・大野祐介^{1,2}・木原章雄^{1,2}

(¹北海道大学大学院生命科学院・²北海道大学大学院薬学研究院)

11:55~12:10 【一般講演 O-17】

Decreased sphingosine kinase 2 expression during keratinocyte differentiation upregulates cathelicidin antimicrobial peptide production

Kun Pyo Kim¹, Kyong-Oh Shin², Yong-Moon Lee², Yunhi Cho¹, Kyungho Park³, Yoshikazu Uchida³ (¹Department of Medical Nutrition, Graduate School of East-West Medical Science, Korea, ²College of Pharmacy Chungbuk National University, Korea, ³Department of Dermatology, School of Medicine, University of California, San Francisco, USA)

12:10~13:10 【運営委員会】

13:10~13:20 【総会】

13:20~13:30 【セラミド研究会功労賞表彰式】

【Young Investigator Award 表彰式】

13:30~14:10 【第6回 JSC Award受賞講演】

セラミド多様性の分子機構

木原章雄 (北海道大学薬学研究院)

14:10~14:50 【国内招待講演 L-3】

アルツハイマー病予防のためのスフィンゴ脂質含有細胞外ベシクル

○湯山耕平・五十嵐靖之 (北海道大学大学院先端生命科学研究院)

15:00~15:40 【国内招待講演 L-4】

パイナップル由来グルコシルセラミドの経口摂取による皮膚機能改善効果とその作用機序の検討

○西谷洋輔¹・岡早紀子²・桑田崇志²・橋本堂史²・大戸信明¹・栗原浩誠¹・水野雅史²
(¹丸善製薬株式会社・²神戸大学大学院農学研究科)

15:40~16:20 【国内招待講演 L-5】

α結合型スフィンゴ糖脂質による免疫制御:現状と今後の展望

渡会浩志 (東京大学医科学研究所幹細胞セロミクス分野)

16:20~16:25 【閉会挨拶】